

「『ビジネス』を護るサイバーセキュリティデイズ2019」を開催

総務省北陸総合通信局（局長 山田 和晴）は、国立研究開発法人情報通信研究機構（理事長 徳田 英幸）、北陸経済連合会（会長 久和 進）、北陸情報通信協議会（会長 久和 進）との共催により、平成31年2月6日（水）と7日（木）に、「『ビジネス』を護るサイバーセキュリティデイズ2019」を開催しました。

1日目 Micro Hardening（実践的訓練）

「Micro Hardening」を実施し、参加者は、ゲーム感覚の実践的訓練により、サイバー攻撃に対処する具体的な方策などの知識を深めました。セキュリティ担当者など約40名が参加しました。



▲1日目の「Micro Hardening」の様子
参加者は、4人一組でサイバー攻撃に対処する能力を磨きました。

セキュリティ人材を育成するための



▲総務省サイバーセキュリティ統括官室参事官の木村公彦氏
=サイバーセキュリティ政策の最新動向について説明

2日目 セミナー

総務省からのサイバーセキュリティ政策の最新動向についての説明に引き続き、サイバーセキュリティ分野の第一人者が、経営者が把握・理解すべきサイバー攻撃のリスクと対策について講演を行いました。「過去の事例を教訓とする対策が有効」「リスクを把握した上で、適切な対策が必要」「事業継続を意識しての対策を実践すべき」などわかりやすく解説しました。約100名が参加しました。



▲2日目のセミナーの様子

写真右上は、セミナーでファシリテーターを務めた篠田陽一氏（北陸先端科学技術大学院大学教授／内閣サイバーセキュリティセンター補佐官／国立研究開発法人情報通信研究機構R&Dアドバイザー）

=豊富な知識と経験から、各講師の専門的な講演内容に対してわかりやすく補足説明を行うなど、セミナーをリードしました。



▲EYアドバイザリー・アンド・コンサルティング株式会社シニアマネージャーの森島直人氏
=インシデント例から学ぶセキュリティ対策の重要性 ～今すぐできるリスク評価～と題して講演



▲NECネクサソリューションズ株式会社／公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会の中西克彦氏
=東京2020に向けたサイバーセキュリティ対策 ～過去大会の教訓を企業で活かす～と題して講演



▲株式会社川口設計代表取締役の川口洋氏
=事業継続を意識したサイバーセキュリティ対策の実践 ～Micro Hardeningの活動を通して得られたこと～と題して講演